



ある晴れた日に 1971

小川原脩展

遥かなるイメージ I

The exhibition of Shu Ogawara art work

2018.4.28 Sat - 8.26 Sun

小川原脩記念美術館 第1展示室

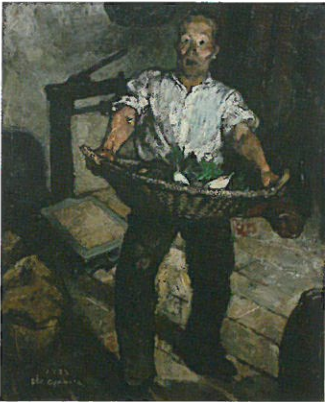
開館時間 / 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで) 休館日 / 毎週火曜日、5月14日(臨時休館)、7月9日 ~ 13日(展示替え休館)
観覧料 / 一般500(400)円、高校生300(200)円、小中学生100(50)円 ()内は10人以上の団体料金

小川原脩記念美術館
Shu Ogawara Museum of Art

〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1(0136-21-4141)
<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>



植物園 1937年



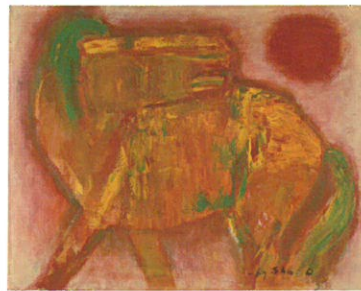
納屋 1933年



早春 1941年



宗谷海峡の漁師 1953年



太陽と馬 1967年



群れ 1977年



暗闇のDUETT 1986年

「時流はどうであれ、様式が何であれ、場がどこであれ、〈個〉としての私が目指すものは、とても手のとどかない高さにあるものと知りつつも、それに近づく為の努力ではなからうかと思うようになった。その積み重ねだけが私をかり立ててくれるのだー」(小川原脩)

小川原脩は倶知安で生まれ、東京美術学校(現・東京藝大)を経て本格的に画業を開始して以来、70数年にわたり画家として〈遙かなるイメージ〉を求め続けました。美校時代の秀作、前衛的な戦前・戦後の作品、自らの境遇を託した動物たちの姿、そして自然と人間が交感するアジアの大地など、それぞれの時代に小川原脩が向き合った代表的な主題の作品を集めました。

●会期中のイベント.....

造形活動ワークショップ

むつ先生と絵あそびしよう「ゆっくり ゆっくり せんさんぼ」

講師:宮崎むつさん(美術家)

日時:5月19日(土) 10:30~15:30

(時間内にいつでも参加できます)

会場:当館ロビー(参加無料)

ミュージアム・コンサート

朗読音楽会「月琴で綴る龍馬の手紙」

出演:永田斉子さん(リュート・月琴)、兎ゆうさん(朗読)

日時:7月15日(日) 14:00~15:00

会場:当館ロビー(無料)

●同時開催.....

武内コレクション・プラス展「ちいさな犬の作品たち」

2018年4月28日(土)~7月8日(日)

しりべしミュージアムロード展「花さんぼ」

2018年7月14日(土)~9月24日(月・祝)

小川原脩

1911-2002



北海道・倶知安町生まれ。東京美術学校(現・東京藝術大学)西洋画科卒業。

美術学校在学中に「納屋」(1933年)が帝展に入選。卒業後、福沢一郎らと出会い「エコール・ド・東京」「創紀美術協会」「美術文化協会」などの結成に参加。シュルレアリスム絵画への道を歩んだが、軍の規制が厳しくなり断念。その後、軍の命令により戦争記録画を制作する。

戦後は郷里・倶知安に戻り、岩船修三、木田金次郎らと「全道美術協会(全道展)」の創立に参加。1958年、野本醇、因藤壽、穂井田日出磨らと「麓彩会」を創立。1975年、北海道文化賞受賞。1994年、北海道開発功労賞受賞。この年、小川原脩画集(共同文化社)を出版する。

倶知安町に定住してから60数年の間、新たな造形の可能性を求め続けた。70歳を目前にして訪れた中国、チベット、インドでの体験を契機として創作の新境地を拓いている。



小川原脩記念美術館

Shu Ogawara Museum of Art

〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1 (0136-21-4141)
<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>